わ か ば

２０２０．４．１８
（令和２年）　第２０－２号
文責　校長　保谷（ほうや）　力（つとむ）

ホームページ　http://www.shokookai.org/gakkou.htm　　毎週火曜日更新

教育目標　「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

重点目標　一人一人の笑顔輝く学校づくり～期待登校・満足下校～

子供 一人一人の笑顔輝く学校づくり

校長　保谷　力

新型コロナウィルスの世界的な蔓延により、アメリカ国内外を問わず、すべての国民の安心・安全を最優先に考えた国家的な取り組みが世界規模で行われております。このような状況の中で、ポートランド日本人学校在籍の保護者の皆様、商工会の皆様には、児童・生徒の安全を守るための様々なご協力、ご支援を頂き心から感謝申し上げます。

さて、学校が閉校しておよそ一月になりますが、お子様のご家庭での様子は如何でしょうか。学校がなくなって一番の問題点は規則正しい生活習慣を続けることが難しいということではないでしょうか。日本国内に於いても外出の自粛等が求められる中、ゲームやネットに依存する子供、規則正しい生活が送れず昼夜が逆転する子供など、保護者の皆様にとって孤軍奮闘の毎日が続いているようです。PJSではこうした状況を真摯に受け止め、現在５月以降の授業の再開を目指して、教育委員会、教職員が一丸となって、今できる最良の方法について話し合いを行っております。

メールによる宿題の配信と添削だけでは、小学部の子供たちには大変つらい学習となってしまうことを案じております。そこで、たとえ短い時間の中でも、画面を通して教師と子供が顔と顔を合わせ、授業に臨むことができないものかと検討しております。実施に当たっては、保護者の皆様にもご協力をいただかなければならないことが多々あるかと思います。また、接続の不具合など、ネットを活用することで起こりうる様々の問題も考えられます。しかし、こうした緊急事態の中で子供たちの基礎学力をどのように維持して行くのかを最優先に考え、ご支援、ご協力を頂ければ幸いです。

最後に、PJSの重点目標についてお伝えいたします。本年度より「笑顔輝く学校」とすることで、子供たち一人一人の内面の豊かさにも焦点を当てていこうと考えております。ご存じの通り、学校は学ぶところです。学びなくして学校の存在はあり得ません。しかし、その学びを支えてくれるのは、安心して学ぶことのできる学級であり、子供との絆をしっかりつくれる担任の存在であると考えます。学級は子供たちの心の居場所です。自分の居場所をもっている子供は、どんな苦難にも負けずに、立ち向かって行く力をもっているのです。

私も４月当初の入国ができず、日本国内より現地教職員とのオンライン会議を通して、様々な問題を共有し改善に努めております。遠く離れた場所から、どれだけ力になれるのかは分かりませんが、ポートランド日本人学校の再開に向け教職員と力を合わせて頑張って参ります。

教科書・副教材について

現在、Stay Home Order が発令されていますが、今回の教科書等の配布・受け取りに関しましては、必要不可欠な活動の一つと認められることから、州政府の COVIT-19 に関するガイダンスに沿って実施致します。

教科書と副教材が揃うまでに時間がかかりましたが、4 月 17 日（金）に、ようやく仕分けを行うことができました。お手伝いに駆けつけてくださった領事事務所の方々と事務局職員で仕分けを行いましたが、外出禁止令下での作業となるため、Social Distancing を厳守し、もちろんマスクと手袋を装着。安全第一で黙々と作業を行いました。5 時間近い重労働でしたが、子供達に教科書を届けられると思えば、筋肉痛も我慢できるというものです。

配布に関するお知らせは、来週初めにメールでお送り致します。ドライブスルー形式にする予定ですので、天気予報を確認した上で実施日を決定致します。もう少しだけお待ちください。

はみだし本の虫

日本人学校の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。新年度が始まったというのに新たなスタートが切れず、なんともものどかしいですね。

本の虫は、2012年に日本人学校の保護者有志によって結成された図書ボランティアが発行するニュースレターです。2017年度までは月刊でしたが、現在は不定期に発行しています。これからしばらく、わかばにちょっと間借りをし、「はみだし本の虫」と題して本や読書などの話題を中心にお届けしたいと思います。

第一回の今回は、いきなり話題が脱線しますが、ミュージカルについてです。ミュージカルといえばアメリカではニューヨークのブロードウェイが有名ですが、現在はもちろんコロナウィルスの影響で、どの劇場も上演を見合わせています。そんな中、アンドリュー・ロイド・ウェバーという有名なイギリス人作曲家が、The Shows Must Go On!と称し、自作のミュージカル作品を毎週金曜に公開しています。

4/3から7週の予定で始まったこのプログラムは、すでに2回を終えています（「ジョゼフ・アンド・アメージング・テクニカラー・ドリームコート」「ジーザス・クライスト・スーパースター」）。次回は4/17（金）の予定で、午前11時（PST）から48時間に限り、視聴が可能です。ラインアップは明かされていませんが、「キャッツ」や「オペラ座の怪人」などの大ヒット作も公開されるようです。この機会に、本場のミュージカルを家族そろって見てみませんか？

https://www.youtube.com/channel/UCdmPjhKMaXNNeCr1FjuMvag/videos